



食育が子どもを変える

～苦手な食べ物も身体には大切なんだ！～

6月26日(金)立花小学校のオープンスクールでは、全学年を通じて食育の授業が行われました。3年生は食物に含まれる栄養素、その栄養素が身体に与える影響を学びました。「苦手な野菜は細かくして料理してもらおう。」「さらいなピーマンは好きなお肉と一緒に口に入れる。」等、苦手克服への様々なアイデアが子どもの発言にみられました。



立花小学校



6年生の授業ではエーデルワイスのパーティエがデコレーションケーキを作り、プロの技が披露されました。「食」から「夢」へと広がる世界に子どもたちもくぎづけになっていました。

栄養バランスのよい食事は、集中力を持続させ、脳の情報伝達を活性化させます。また本物に出会い、夢や希望を持つことは、学習に対する意欲を高める大きな力となります。

安心して学校・園生活を送り 落ち着いて学習に取り組むために

お子さんの子育てのことで不安を抱えたり、勉強や友だち関係のことで悩んでいたりしませんか？その悩み、ぜひ相談してください。

一人で悩まずに、一緒に解決方法を見つけましょう！



Q.どんなことを相談できますか？

A「集中力がない」「学力が伸びない」「学校や園にいきたくない」「友達と仲良くできない」「集団になじめない」「落ちつきがない」「子育てやしつけに不安がある」など、様々な悩みの相談に応じています。

Q.教育相談とは

具体的にとんごをするのですか？

A.専門の相談員が聴きとりの聞き、子どもの心や行動について話し合います。子どもへの理解を深め、関わる時のポイントや接し方などを一緒に考えていきます。また、プレイセラピーなども行っています。心療内科医、精神科医による教育相談もあります。

○4歳から18歳までの子どもに関する教育相談に応じます。まずは、お電話ください。(面談相談は予約制です)

面談相談をご希望の方・・・ ☎(06)6423-2550
電話相談をご希望の方・・・ ☎(06)6429-7564

相談無料

(受付時間) (所在地)
月曜日～金曜日(祝日と年末年始を除く) 尼崎市三反田町1-1-1
午前9時～午後5時30分まで 尼崎市立教育総合センター 2階

○ 学力があり、心豊かなあまっ子に！

早寝早起朝ごはん

- 1 しっかり寝ましょう！
- 2 バランスのよい食事をしましょう！
- 3 家族で話をしましょう！

などの生活の見直しも大切です。(中央教育審議会の編纂報道報告より)

主体性を育成する活動

～「児童生徒」「保護者」「地域」のふれあいを通じて～

「明るく元気のある学校にしたい」「生徒・先生・保護者・地域が集まっての「おもつき」から始まった行事も、今年で14回目を迎えます。保護者のバックアップのもと、生徒が主体となり、工夫を凝らした「緑日」を企画・運営しています。その「緑日」に、小学生や地域の方が集まって、現在では、「地域のおまつり」にまで発展しました。「地域の子どもは地域で育てる」武庫東中学校区の夏の風物詩となっています。



武庫東中学校



Happy 100th anniversary Amagasaki

百歳！です

平成28年に尼崎市は「市制100周年」を迎えます。

編集後記

今回は、「主体的に学ぶ」をテーマに、いろいろな取り組みを紹介しました。

あまっ子たちが、自分からチャレンジすることで、ぐんぐん成長してくれることを願っています。

あまがさきこどもきょういくし

あまっ子



第24号 平成27年 9月4日



学力UPへの道 24

- アクティブラーニング (主体的・協働的な学び)
- 読書力向上事業
- 学力向上クリエイティブ事業
- 情報教育推進事業(ICT活用)

発行者: 尼崎市教育委員会 〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1 TEL. 06-6489-6727 (学校教育課)

あまっ子 ジャンプチャレンジランキング

～みんなで挑戦、仲間との絆～

「もうちょっと真ん中を跳ぼう」「間あけたらあかんで」子ども達の声飛び交う中、次々と跳の中に入っていく子どもたちの姿が、放課後の運動場で見られました。今年度から始まった「あまっ子ジャンプチャレンジランキング」で連続8の字跳びに挑戦する武庫の里小学校6年2組の子どもたちです。少しでも多く回数を跳ぼうと、跳ぶ順番や縄を回す子、跳び方のコツなどを子ども達が話し合っていて決めています。

このような取り組みは体力向上を促すことはもちろん、仲間と協力して課題解決しようとする態度が育ち、学習にも生かされます。



グループラーニングタイム

～豊かな心を育み、心響き合う～

大庄北中学校では主体的に学ぶ力を高め、コミュニケーション能力と自己肯定感を育てることを目的に、教科の枠を越えてGLT(グループ学習)に取り組んでいます。

写真は3年生社会の歴史学習の様子です。学習課題に対して、グループで話し合いながら仮説を立て、資料を調べながら仮説を検証していきます。生徒たちは歴史上重要な語句を使いながら、真剣に話し合います。こうすることで、ただ語句を覚えるだけでなく、他の歴史的な出来事と関連付けて学ぶことができ、生徒たちの知識が深まっています。学校で仲間と共に学び合う良さが生かされている授業ですね。



そのわっこフェスティバル

～主体的に行動する態度を育てる～

園和幼稚園の子どもたちは、「そのわっこフェスティバル」の準備に夢中でした。仲間とともに、意見を出し合い、「乗って遊べる飛行機」を制作していました。自分たちがじっくり遊び、思いを膨らげた結果、制作することになった飛行機。その過程で感じた楽しさをお客さんに伝えるために、次々にアイデアを出し合い、形にしていきました。

そして迎えたフェスティバル当日、お母さんと一緒に雲になりきる姿からは、「お客さんに、飛行機に乗っていることを感じてほしい」という気持ちがあふれていました。こうした体験を重ねることにより、「自分の思いを形にしたい」「自分の思いを伝えたい」という主体的に行動する意欲が育っていきます。





家庭では…

～集中力や読解力を育て 主体的な学びを支える家読(うちどく)～

【家読(読書)により期待できる効果】

- ①集中力や読解力を培うことができる
- ②知識や言葉を増やすことができる
- ③家族とのコミュニケーションの場を増やすことができる など

【家読の方法は(ご家庭で)】

家読には決まった形はありません。ご家庭の状況に合わせて、できることから気軽に取り組むことが大切です。ここではある家庭の一例を紹介します。

～Aくんの家庭では～

- ①毎週日曜日の夕食後を家族読書タイムにする
- ②時間は20分間として、家族で静かに読書をする
- ③その後、読んだ本について話し合う

無理せずに行えることから始めて、読書が好きなお子さんを育てましょう。

学校の様子

読書力向上事業がスタートしました。「子どもがいつでも安心して図書室に行けるようになった」「新しい本が早く子どもたちの手に届くようになった」などうれしい声が届いています。読書習慣を身につけるために、各校では読み聞かせや図書クイズ、読書記録ノートなど様々な取り組みが行われています。



読書力向上事業

今年度より始まった事業です。全小学校に、図書館司書や司書教諭等の資格をもつ方を配置しています。また、全中学校に、地域ボランティアを配置し、児童生徒の読書への興味を向上させ、読書習慣を身につけることで、学力向上につなげます。

学力UPへの道²⁴

「アクティブ・ラーニング」という言葉を知っていますか?「主体的」「協働的」に学んでいく学習者中心の学びのことで、現在注目されています。そこで今回は「主体的に学ぶ」というテーマで、教育委員会が展開するいくつかの事業と学校・園の取り組みと、それに関連した家庭でできる学力UPの方法を紹介します。

家庭、学校・園、教育委員会が協力し、あまっ子の学力をぐんぐん伸ばしましょう。

家庭では…

～予習・復習で、 主体的に学ぶ態度を育てよう～

予習・復習をすればいいのは、わかっているけれど、どうすればいいかわからない。そんな人のために、ここでは予習・復習の方法の一例を紹介します。

<予習>【学校で配付している家庭学習の手引き、自主学習ノートなどを活用して】

- 翌日の教科書を準備したあと、必ず机に向かう(短い時間でもかまいません。)
- 翌日の授業の教科書を開き、どこを学習するのが確かめる
- 教科書を見てよくわからないことを、教科書やノートにメモする

次の授業では、わからないことを知ろうとして、より主体的に学ぶ態度が育ちます。

<復習>【宿題や放課後学習の問題などを活用して】

- その日のうちに授業のノートと同じものを、家でもう一度作り直す
- 学校での問題をもう一度解き直し、発展的な課題にも挑戦してみる

「わかる」が「できる」に変わり、理解したことが確かなものとして身につきます。

学校の様子

家庭学習の手引き 園田南小学校

園田南小学校では、家庭学習の習慣を身につけるために、1日の学習時間の目安や学習方法をまとめた「家庭学習の手引き」を作成し、生活点検表でチェックしています。

また、中学校では「自主学習ノート」などを通して主体的な学習につなぐ取り組みを行っています。

放課後学習 立花南小学校

立花南小学校では、3年生と4年生を中心に毎週木曜日に「放課後学習」を行っています。担任の先生と放課後学習の先生が用意したプリントで、復習を中心に学習しています。わからないことを進んで質問するなど、子どもたちが主体的に学んでいます。

学力向上クリエイティブ事業

それぞれの学校が、学力向上の取り組み(アクションプラン)を計画し、それを支援していく事業です。どの学校も子どもの学力向上のためにさまざまな工夫をしています。いろいろな支援から、学校は必要とするものを選び、取り組んでいます。

【例】「放課後学習」「土曜学習」「同室複数指導」「小中連携支援」「教員指導力向上支援」「特色ある教育活動支援」など

教育委員会が展開する事業(一部)



家庭では…

～ICTを活用して、主体的に学ぼう～

中学生は、家庭や図書館などのインターネットにつながっているパソコンやタブレット等で、eライブラリという学習支援ソフトを利用することができます。主に5教科の学習ドリルを自分のペースで学習していくことができます。ドリルは3種類の難易度が用意され、小学校1年生から中学校3年生で学ぶ単元を網羅し、その問題数は約60,000問に及びます。今年度は7月までに約11,000回の利用がありました。

一人ひとりの理解度に応じた反復学習が可能な「単元学習解説教材」や、全国47都道府県の過去3年間の高校入試問題などが印刷でき、受験生の家庭学習を強力にサポートします。

家庭学習用アドレス
<https://katei.kodomo.ne.jp>

※利用には、生徒に配布されているIDとパスワードが必要です。

学校の様子

中学校のコンピュータ室では、eライブラリの「ドリル」「単元テスト」「解説教材」や「プリント教材」を使って学習することができます。また、eライブラリの「プリント教材」を利用して、印刷した入試問題等を、生徒が自由に持って帰って挑戦できるような取り組みをしている学校もあります。



1 eライブラリ画面

情報教育推進事業

中学校では昨年度、学習支援ソフトとして学校と家庭とで利用できる e ライブラリを導入しています。小学校では本年度、全ての児童用コンピュータをタブレット型のコンピュータに入れ替えて普通教室でも使いやすく、学習などへの活用を進めています。

